

岡山県地域医療支援センター運営委員会平成27年度第2回会議 議事要旨

1 日 時 平成28年2月16日（木）15:00～16:15

2 場 所 岡山衛生会館 5階 中ホール

3 出席者 別紙のとおり

4 議 題

(1) 岡山県地域医療支援センターの運営状況について

①平成27年度事業実施状況及び平成28年度事業計画について

- ・平成27年度事業実施状況
- ・平成28年度事業計画

②地域枠学生の奨学資金返還事案について

(2) その他

5 議事要旨

(1) 岡山県地域医療支援センターの運営状況について

① 平成27年度事業実施状況及び平成28年度事業計画について

事務局から実施状況及び計画の内容について説明があり、承認された。

なお、委員からは次のような意見があった。

- ・ 医師数の少ない病院では地域枠卒業医師1人の役割は非常に大きいので、地域枠卒業医師が急に休んだりした時には、地域枠卒業医師が配置されている複数の病院から交代で週に一日応援に来てもらえるような助け合いのシステムがあればよいと思う。

② 地域枠学生の奨学資金返還事案について

事務局から、奨学資金貸与の辞退理由、奨学資金返還までの経緯、地域枠学生と地域枠卒業医師への今後の対応について説明があり、委員からは次のような意見があった。

- ・ 定期的に様々な学年の地域枠学生を集めて、指導する先生が地域枠学生であることの意識付けを行ったり、地域枠学生の意見を聞いたり、辞退しそうな地域枠学生をしっかりフォローしたりするようなことをしてはどうか。
- ・ 消防でも少し訓練をしたら平気でやめる者がいる。本人のモラルの問題であり、やめてしまう者が出るのは仕方がないのではないか。

(2) その他

委員から次のような意見があった。

- ・ 近隣の病院同士がスクラムを組んで地域の医療に責任を持とうという地域に医師を配置することになるのか、地域医療構想と重要な絡みが出てくるように思われる。

- 育児休業明けの看護師は夜勤ができないなど、看護師不足も非常に深刻である。医師と同様に看護師の適正配置や卒後のキャリアパスもしっかり考えるよう、全国に向けて提案してもらいたい。
- 医師や看護師を配置する地域を決めたら、医療従事者が住めるような地域づくりも必要である。
- 人材育成をしている間に医療が崩壊する地域が出てくる可能性もあるので、地域卒業医師が何年か先に活躍できるようになるまで、リタイアした医師に地域医療で活躍してもらえらるような施策をしてもらいたい。

岡山県地域医療支援センター運営委員会 平成27年度第2回会議 出席者名簿

区分	所属	役職等	氏名	備考
大学	岡山大学病院	病院長	榎野 博史	欠席
	川崎医科大学附属病院	病院長	園尾 博司	
関係機関	岡山県へき地医療支援会議	会長	谷本 光音	副会長
	岡山県へき地医療支援機構	専任担当 医師	塩出 純二	
	特定非営利活動法人 岡山医師研修支援機構	副理事長	金田 道弘	
医師会等	公益社団法人 岡山県医師会	会長	石川 紘	会長
	一般社団法人 岡山県病院協会	副会長	忠田 正樹	
寄附講座	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座	教授	片岡 仁美	
		教授	佐藤 勝	
市町村	岡山県市長会	新見市長	石垣 正夫	
	岡山県町村会	鏡野町長	山崎 親男	
保健所	岡山県保健所長会	備前保健 所長	小寺 良成	
有識者	帝人ナカシマメディカル 株式会社	代表取締役 役会長	中島 義雄	

(委員数：13人、委員任期：平成28年8月31日まで)

事務局	岡山県地域医療支援センター	センター長	糸島 達也	
		専任担当 医師	岩瀬 敏秀	岡山大学支部
		センター 事務員	下山みどり	
		センター 事務員	秋田 政子	
	岡山県保健福祉部	部長	荒木 裕人	
	岡山県保健福祉部医療推進課 (地域医療体制整備班)	課長	則安 俊昭	
		副課長	豊田 和典	
		参事	藤村 隆	
		総括副参事	村上健太郎	
		主幹	平田 英俊	